

「スチール缶」に関する意識調査 調査結果ダイジェスト

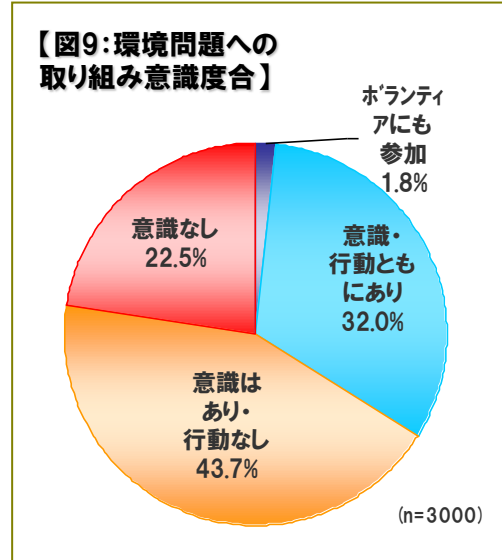
5. 環境意識について

■環境意識が低い人は、約7割。 リデュースの意味が分からない人が約6割。

環境問題への取り組み意識の度合いを4段階で訊ねたところ、「意識なし(環境問題は特に意識していない)」と答えた人が23%、「意識はあり・行動なし(環境問題は意識しているが、あまり行動には移していない)」が44%と、環境意識が低い人の割合が7割を占める結果となった。(図9)

また、環境にかかわる言葉として「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の言葉の認知状況を訊ねたところ、「リデュース」については「言葉を聞いたことはある」(31%)、「知らない」(28%)と、意味を知らない人の割合が6割を占めた。(図10)

環境意識は若い世代ほど低い一方、環境にかかわる言葉は若い人の方が意味を理解しており、矛盾が生じている。



【図10:リデュース・リユース・リサイクルの言葉の認知】

	言葉の意味を理解し、常に行動している	言葉の意味を知っている	言葉を聞いたことはある	知らない	意味を知らない・計
リデュース(Reduce) (n=3000)	13.5	28.0	30.5	28.0	58.5
リユース(Reuse) (n=3000)	16.6	38.0	26.1	19.3	45.4
リサイクル(Recycle) (n=3000)	32.6	46.2	13.6	7.6	21.2

■容器包装のリサイクルマークを見たことはある人は約9割を占めるが、マークの意味まで知っている人は、約6割に留まる。

各容器のリサイクルマークについて、認知状況を訊ねたところ、「マークの意味まで知っている」と「見たことはある」を合わせた合計は、どのマークも9割前後を占めている。一方、「マークの意味まで知っている」人の割合は5割~6割に留まる結果となった。(図11)

「見たことはある・計」の割合は、どのマークでも性別・世代別では大きな差は見られず、全体的に目にとまっはいるが、「マークの意味まで知っている」は、どのマークでも20代男性、30代男性で特に認知率が低くなっている。

【図11:各容器のリサイクルマークの認知状況】

(n=3000)	マークの意味まで知っている	見たことはあるのみ	見たことはある・計
	58.9%	36.4%	95.3%
	60.6%	35.1%	95.6%
	50.7%	43.0%	93.7%
	51.0%	35.0%	86.0%
	61.1%	34.5%	95.6%